

おもてなしの

いろは



小矢部市プロフィール

小矢部市は富山県の西端に位置し、高岡市、砺波市、南砺市、石川県金沢市及び津幡町と接しています。

市の西北部は標高346mの稲葉山をはじめとする丘陵地帯で、東南部は砺波平野の穀倉地帯であり、地場産業振興の拠点となっています。

本市における最大河川の小矢部川は、市の名でもあり、南から北北東に向かって市域を貫流しています。



小矢部市の
花
木



市の花木
「紅梅」



市の花
「花菖蒲」



市の木
「宮島杉」

小矢部市
シンボル
キャラクター



小矢部市シンボルキャラクター

メルギューくん

メルモモちゃん

メルギューくんプロフィール

先祖は、源平の倶利伽羅合戦で活躍した火牛です。家族といっしょに稲葉山に住んでいます。おちゃめでわんぱく、食いしん坊な男の子です。

メルモモちゃんプロフィール

メルギューくんの彼女です。春に八重桜が美しく咲く「倶利伽羅県定公園」に住んでいます。清楚でつつましく、大和撫子のような女の子です。



CONTENTS

『おもてなしの心』とは	01
おもてなしはあいさつから	02
何もないちゃは禁句！	04
おもてなしのバリアフリー	21
プロのおもてなし	24
安全・安心の心得	36

01 | 『おもてなしの心』とは

『おもてなし』にはいくつかの重要なポイントがありますが、基本は
『おもてなしの心』 = 思いやりの気持ちです。

■ 小矢部市に来られた方への 気配り・心配り

相手の立場に立った細やかな気配りや心配りで、心温まる対応をするのが『おもてなしの心』の原点です。

『おもてなし』は、もてなされる側ともてなす側が、嬉しさ・満足を共有するという感謝の心の相互関係を背景としています。

小矢部市に来られた方に満足頂いたことが、自分の喜びとして感じられれば、より一層すばらしい気配り・心配りに繋がります。また、全ての方に対する正しい対応というものはありません。小矢部市を訪れた観光客が、住民との触れ合いを通じて感動し、小矢部市のファンになってリピートしてもらえよう、一期一会の精神で心を込めた『おもてなし』を心がけましょう。



職種を問わず、あらゆる対応の場面で求められるのが『おもてなしの心』です。
自分の都合より相手の都合を優先し、心を込めた『おもてなし』をしましょう。

02 | おもてなしはあいさつから

■ 笑顔であいさつしましょう

おもてなしで最も大切なのは笑顔です。

笑顔を活かしたあいさつは、まちづくりにおいても重要な要素と言えるもので、観光として大きな財産です。まずは笑顔で気さくにあいさつをしましょう。

旅先で出会った地元の人々の優しい言葉や親切な対応は、人の心を和ませます。

また、飾らない地元の人々との語らいは旅の魅力でもあります。方言も魅力の1つです。自然なおもてなしを心がけましょう。

● 笑顔のポイント

心構え

どのような相手に対してもあなたの「あたたかい心」からスタートしましょう。こちらが先に心を開いて観光客に接してみましょう。

目元

目からはあなたの感情がストレートに相手に伝わります。目に相手への好意を映し出すことを意識してみましょう。

口元

口角が下がっていると不平・不満の感情として相手に伝わってしまいます。口角を上げてほほえんでみましょう。

あごの角度

あごは上がりすぎていると冷たい印象になります。また、下がりすぎていると不安げな印象になります。



不 満



真 剣



歓 迎・喜 び



楽 しい・嬉 しい

● おもてなしのあいさつ

- ◆ こんにちは ◆ いらっしゃい
- ◆ 気をつけて ◆ いってらっしゃい ◆ ありがとう など。

Attention

初対面の人と接した時は、はじめは簡単なあいさつや天候の話題などを話して、あまり踏み込まないほうが無難です。
宗教・政治思想・プライバシーに関する話は特に避けましょう。

● 好印象な話し方

- **正しく**……………正しい言葉使い、正確で簡潔な表現を。
- **わかりやすく**……………高齢者など、お客様に合わせた言葉使いとスピードで。
- **明るく**……………明るい表情(笑顔)と、明るい声でハキハキと。
- **あなたの**……………否定的な言葉は避けて、肯定的に。
優しさを言葉に
- **方言は旅の魅力**……………方言は地域の伝統文化に接する機会として、むしろ最大級の『おもてなし』です。代表的な方言を覚えて帰るのは、楽しい旅の土産話や旅の思い出になります。

…………… 小矢部市で使われる方言 ……………

あいそらしい……………かわいい	じゃまない……………問題ない
おあいそんない…何のお構いもせず	なごならっしゃい……………休んで下さい
あったらもの……………もったいない	ねまらっしゃい……………座って下さい
いっそくた……………まとめて	ひどい……………つらい
うまそい……………見事な	やんばい……………良い
おおど……………おおげさ	ようない……………申し訳ない
かいこと……………交換	よめしゃがり……………夕方、仕事終わり
きときと……………活きのいい様子	ようおいでた……………よく来てくれた
けっこう(血行)……………気持ちいい	りくつなもん……………便利なもの

03 | 何もないちゃは禁句！

■ 郷土に誇りを持ち、小矢部市をもっと知りましょう

小矢部市の自然や歴史、文化に関心を持ち、学び知ることは、ふるさとへの愛着と誇りを持つことにつながります。一人ひとりが小矢部市のいいもの、美味しいものを案内出来るようになれば、小矢部市の魅力がさらに高まります。

■ 地域の良い循環を生み出しましょう

小矢部市の観光資源は、住んでいる人達の愛郷心から輝きます。

▼
その輝きが多く観光客を集め、地域がにぎわいます。

▼
そのことが新たな誇りになって地域を愛する心を育みます。

▼
このことは将来の子供たちにも受け継がれ、観光というものを通して地域を愛する風土が生まれます。

住民にとって「住みたくなるまち」「誇りを持てるまち」、観光客にとって「心から訪れたいまち」となるような『まちづくり』が観光資源を作り出し、発展させる第一歩です。

■ 観光振興で経済波及効果を

多くの観光客を迎えることで直接的な観光業のほか、生産（飲食原材料やみやげ物の原材料の生産など）や雇用なども含め2次的な経済効果が生まれます。

小矢部市の大きな活性化の目玉として観光を捉えましょう。

私たちが暮らすまち『小矢部市』をあらためて知り、誇りを持ってください。
そして、これを機会に「観光・交流」からのまちづくりをしましょう。

■ はじめよう『おもてなしのまちづくり』

一言で「観光」と言っても、いかにも観光という名所巡りだけではなく、最近では人それぞれのテーマに応じた「観光」を楽しむ人が増えています。

小矢部市にも、いろいろなテーマを持った観光客が訪れますが、多くの人は小矢部市には、ほっとする安心感や安らぎを求めて来ます。

その期待に応えることのできる『人の息づかいや温もりが伝わる』、そんな小矢部市のまちづくりをしていきましょう。

いくらい施設・いい景色があっても、そこに住む人の、まちを愛する温かさがなければ、そのまちの魅力は伝えられません。
まちづくりの視点で『必要なおもてなし』をしていきましょう。

……『必要なおもてなし』チェックシート……

- ゴミのない清潔なまち・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 四季の変化を感じられる、潤いのあるまち・・・・・・・・・・・・
- 自然に恵まれ、景観のすぐれたまち・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 自慢の食材、郷土料理があるまち・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 誰もが親切で、温かさの感じられるまち・・・・・・・・・・・・・・
- あいさつや声かけなどが活発なまち・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 安全・安心なまち・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・



観光客が観光しやすい環境を整えるのも大事な『おもてなし』の一つです。
小矢部市の“旅のテーマ別おすすめスポット”を次頁から紹介しますので参考にして下さい♪

其の壱 美しいものを訪ねる旅

● 観光客のニーズ

雄大な自然環境、きれいな景色や夜景、美しい街並みや建物。

● 必要な『おもてなし』

美しさにひたれる環境を提供すること。

- ゴミのないまちづくりと環境保全活動。
- 軒先の行燈、田園風景など、四季の変化を感じられるような演出。



宮島峡



◆ 一の滝・二の滝

[一の滝] 一の滝と滝下にある大小のポットホール群は、県指定天然記念物です。川幅いっぱいに落下する様は小ナイアガラともいわれています。

[二の滝] 二の滝は3段になっており、路上から見下ろすと豪快な滝しぶきが流れ落ちていきます。

[探勝歩道] 二の滝まで続く探勝歩道では子撫川の源流の様子を体験出来ます。

[竜宮淵] 竜が棲んでいると恐れられていた竜宮淵。竜宮淵の水神を祀る祠が建っています。



◆ 鼓ヶ滝



水量が少ない時、水の落下する音が滝の洞に反響して鼓を打つ音に聞こえることから、『鼓ヶ滝』と名付けられました。滝の右側の岩壁には、5体の露天磨崖仏が彫られており、市の文化財に指定されています。

イベント ◆ 岩魚つかみどり大会（毎年夏ごろ）

稲葉山



◆展望広場

標高346メートルの稲葉山は、牛の放牧場の他、遊具・展望デッキなどが設けられ、家族やカップルで楽しめる自然の中の憩いの場です。眼下に広がる大パノラマは四季を通して絶景が楽しめます。クリーンな風エネルギーを生み出す3基の風力発電が目印です。

◆稲葉山ふれあい動物広場



『うさぎ』『やぎ』『てんじくねずみ』『りす』などが飼育されており、動物たちと触れ合える空間になっています。

【開園期間】 毎年4月～11月（月曜日休園）

【開園時間】 9：00～16：00

◆宮島観光栗園



県内唯一の観光栗園で栗拾いが楽しめます。拾った栗は持ち帰ることも出来ます。（有料）

【開園期間】 9月上旬～10月中旬（土・日・祝日のみ）

【開園時間】 8：30～16：00（栗が無くなり次第閉園）

メルヘン建築

小矢部市内35箇所には、ロマンとメルヘンの世界が広がる建築様式の公共施設が点在します。

これらは、ヨーロッパの寺院建築・チャペル風・お城など、さまざまな国のデザインが取り入れられ、小矢部市のシンボルとなっています。



其の弐

文化・教養の旅

● 観光客のニーズ

伝統文化鑑賞や体験、歴史遺産めぐり、まつりの体験。

● 必要な『おもてなし』

歴史の息吹を感じる環境を整えること。

- 歴史遺産や展示場の観光資源としての魅力の維持活用。
- 伝統行事の保存、育成。



桜町遺跡

桜町遺跡とは

桜町遺跡は、今から約8000年前の縄文時代早期から約2300年前の縄文時代晩期まで続いた遺跡で、木の道具や動物の骨、植物の種子が出土しました。また、遺跡から発掘された、貫通した穴や抉などの顕著な加工の施された木材は、縄文時代の建築部材の可能性が指摘されています。



◆桜町JOMONパーク

桜町遺跡の体験学習施設。
縄文人の高度な加工技術を身近に感じることが出来ます。



◆小矢部ふるさと歴史館

小矢部市内の遺跡から出土した遺物を展示・公開しています。



◆若宮古墳

弥生時代の村落の上に、6世紀初頭に建造された前方後円墳です。小矢部市埴生の医王院裏手にあり、須恵器や埴輪が出土しました。埴輪を有する現存する古墳としては富山県内唯一です。

倶利伽羅県定公園



◆ 殖生護国八幡宮



木曾義仲が戦勝を祈願したことで有名で、祈願文が今も残っています。約1300年の歴史があり社殿は国指定重要文化財にもなっています。また、馬上の人物像としては日本最大級の源義仲騎馬像が建立されています。

◆ 源平ライン



小矢部市桜町から石川県津幡町竹橋まで伸びる旧北陸道をゆくハイキングコースです。その昔、参勤交代に使われた道や源平合戦の跡地を散策することが出来ます。

◆ 倶利伽羅古戦場

～響き渡る 義仲軍開の声～

およそ800年前の春の夜半に、木曾義仲が、角に松明をくくりつけた牛の群れを先頭にこの山路を駆け抜け、平家十万の大軍を破ったという、源平の戦に名高い『火牛の計』を策した古戦場です。

イベント ◆ 歴史国道イベント

(毎年春ごろ)

◆ 倶利伽羅さん八重桜まつり

(毎年4月28日～5月5日)

◆ 八幡宮 宮めぐりの神事

(毎年9月10日～17日までの日曜日)



木曾義仲

巴御前



伝統行事ほか



◆石動曳山祭

毎年4月29日(祝)石動のまちでは、『石動曳山祭』が催されます。桃山時代の美術工芸の粋を集めた絢爛豪華な11本の花山車が街中を練り廻ります。お囃子・笛・太鼓・車のきしむ音で祭りは最高潮になります。



◆おやべの獅子舞祭

毎年5月第4土・日曜日に石動のまちでは、『石動天神獅子舞祭』が催されています。獅子舞祭は市内84か所で、今も保存・伝承されており、春から秋にかけてそれぞれに祭礼行事として奉納されています。



◆津沢夜高あんどん祭

毎年6月第1金・土曜日に津沢のまちでは、五穀豊穡を祈って、『津沢夜高あんどん祭』が催されます。武者絵の太行燈が激しくぶつかり合うことから『喧嘩夜高祭』とも言われています。



◆源平火牛まつり

毎年7月下旬に石動地区で行われるお祭り、メインイベントとして『火牛の計レース』が行われます。火牛の計レースは、1183年倶利伽羅峠の戦いで、木曾義仲が牛の角にたいまつを付けて放った奇襲攻撃で平家軍に大勝した故事にちなんで行われるイベントで、わらで作った重さ約750kgの火牛を、4人1組で引いてタイムを競うレースです。